

株式の状況

株式数及び株主数 (2026年3月31日現在)	
発行可能株式総数	7,800,000株
発行済株式総数	3,909,800株
株主数	1,551名

大株主 (2026年3月31日現在)		
	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アルゴグラフィックス	1,980,000	50.6
セイコーインスツル株式会社	816,000	20.9
ジーダット従業員持株会	53,000	1.4
秋山 義明	34,100	0.9
楽天証券株式会社共有口	32,900	0.8
若林 敬三	28,400	0.7
MSIP CLIENT SECURITIES	25,300	0.6
久保田 正明	20,000	0.5
株式会社エスケーエレクトロニクス	18,000	0.5
大日本印刷株式会社	18,000	0.5

所有者別状況 (2026年3月31日現在)		
所有者区分	持株数(株)	持株比率(%)
金融機関	6,400	0.2
証券会社	86,377	2.2
その他国内法人	2,844,600	72.8
外国法人等	66,959	1.7
個人・その他	844,992	21.6
自己名義株式	60,472	1.5
計	3,909,800	100.0



本社 東京都中央区湊1-1-12 HSB鐵砲洲 Tel: 03-6262-8400 (代)
当冊子に関するお問い合わせ先 株式会社ジーダット 経営管理本部 E-mail: corporate.planning1@jedat.co.jp

株主メモ	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告とし、次の当社ホームページに掲載します。 (https://www.jedat.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式事務のお問い合わせ先	
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社またはみずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。

表紙の絵は、江戸時代に歌川広重が描いた鐵砲洲の情景です。江戸の入り口として日本の全国各地から廻船が集まった歴史あるこの地から、JEDATは日本EDAの最先端技術を世界へ発信いたします。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



株式会社ジーダット

証券コード:3841

第24期 株主通信

自2025年4月1日 至2026年3月31日



歌川広重「鐵砲洲側真景」国立国会図書館所蔵



JEDAT は Japan EDA Technologies の略です。

私たちは、日本の EDA のリーダーとして、電子産業の発展に貢献したいと考えています。

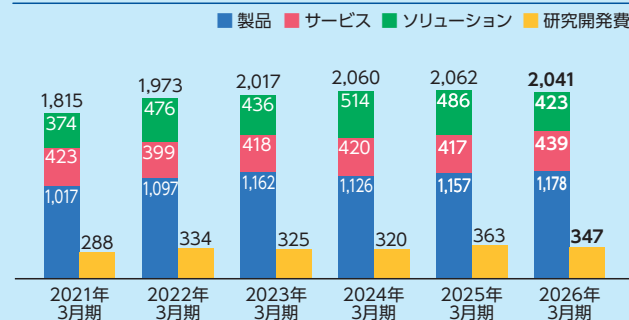
EDA とは Electronic Design Automation の略です。

電子機器や電子部品の設計作業を支援、検証するソフトウェア（電子系 CAD）で、設計作業には不可欠なツールであり、設計期間の短縮や設計品質の向上を実現します。

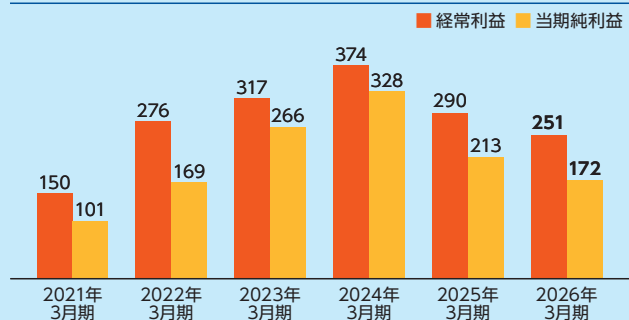
財務ハイライト

(単位：百万円)

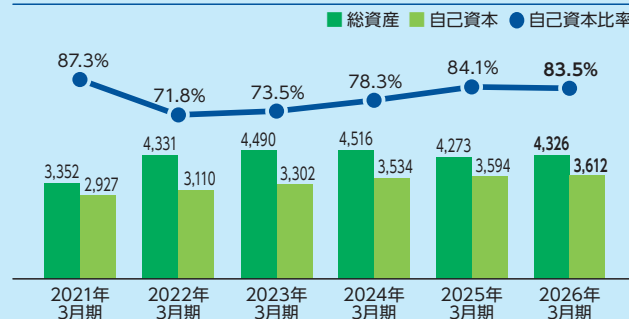
売上高・研究開発費



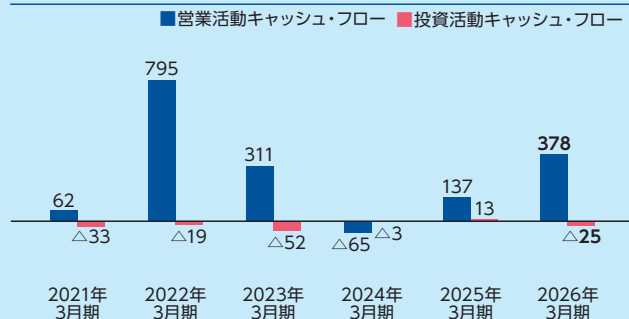
経常利益・当期純利益



総資産・自己資本



キャッシュ・フロー



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第24期における当社の売上高は20億41百万円（前年比1.0%減）となり、一部翌年度に期ズレした案件等もあり、わずかながら減収となりました。一方で、営業利益は前年より若干ながら増益の2億60百万円（同1.4%増）となりました。

第24期における当社の主な活動といたしましては、主力製品であるSX-MeisterのVer.20をリリース、AIを活用した新製品「SX-Meister SCAI」の機能強化をはじめ、レイアウトの編集効率や操作性の向上など、主力製品の機能拡張を継続いたしました。また、日本の半導体人材育成のさらなる推進を目的として、教育機関向け「クラウド版SX-Meister」の提供を開始、販促活動においては、ウェビナーの開催や、各種展示会へ積極的に出展することで認知度の向上に努めてまいりました。



代表取締役 社長執行役員

西村和利

当社の主要顧客である電子デバイス業界の状況ですが、半導体関連業界においては、AI関連デバイスへ期待が高まっている一方で市場は二極化しており、国内半導体メーカーの再編が加速しております。また、FPD (Flat Panel Display etc.) 関連業界においては、国内FPD設計ツールの

の需要は依然として縮小傾向が続いております。地政学的要因の影響としては、米国政権の関税政策や中東情勢を背景とした景気先行き不透明感の高まりや、中国市場の引き続き慎重な市場環境の影響を受けております。

そのような課題に対するための施策として、当社はまず自社製品の競争力・販売力を強化いたします。具体的には、AIを用いたアナログ合成ツールの製品化、アナログLSI設計自動化環境（ACC）の拡張、パワーデバイス向け設計効率化機能の強化、という3つの重点テーマに向けた開発を継続してまいります。その開発においては、デバイス設計部門との連携を強化することで設計者目線の製品づくりを進め、外部技術の導入・活用の促進により研究開発活動を強化してまいります。販売促進活動におきましては、新規製品の販促及び情報発信活動の促進に注力し、大学、高専、企業との連携もより強化いたします。海外半導体市場向けの売上拡大の施策といたしましては、大規模フォトマスクデータブラウザ：HOTSCOPEの販促活動を強化し、また継続して「プラットフォーム」戦略を促進いたします。カスタムソフトウェアにおいては、デバイス製造装置メーカーとの連携と、半導体後工程分野への事業展開を模索し、ビジネスを拡張いたします。また、受託可能な設計体制・対応規模の拡張と、国内外における新規顧客開拓の促進、さらにSX-Meisterを駆使した設計・コンサル型提案を強化することで、デバイス設計受託サービスを強化してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集① グローバル営業戦略部長が語る

ジーダットの AIについての 取り組み

グローバル営業戦略部
部長
小野 信任



EDA業界では、ここ2~3年で一気に生成AIを扱うEDAツールベンダーが増えてきました。特にRTL設計（LSIの動作を $Y=X+1$ のように言語で動作を記述します）では、主に米国において、すでに数社のEDAツールベンダーが生成AIを扱っており、半導体ユーザも社内でも取り組みを始めています。日本国内においては半導体ユーザにおける取り組みは始まっているものの、EDAツールベンダーにおいては、日本のスタートアップでの半導体設計分野へのアプローチは、まだ少ないのが現状です。

そのような現状において、ジーダットではAIに対して2つの取り組みを行っています。1つは、自社ソフトウェア製品の開発ではその開発において、世界的に利用が広がっているAnthropic/ClaudeのようにCやPythonなどの設計用の生成AIの利用を社内を進めています。もう1つは、我々の提供するアナログ半導体設計分野のEDAツールとしての対応です。我々の提供するアナログ設計では、まだ生成AIをどう使えるかは未知数の部分もありますが、チャレンジを進めています。

アナログ半導体設計の世界では、現時点でまだ実務で使える生成AIはありません。いわゆる特化型生成AIとしてチューニングや、AGENTなどを駆使し

て実用に耐えられる環境を作る必要がありますが、そのためには多くの学習データが必要になります。言い換えれば、アナログ半導体設計ツールの領域で生成AIを用いるのは、実は世界的大手のEDAツールベンダーも含めてスタートラインは皆ほぼ同じ、ということでもあります。

ジーダットでは、業界初の「機械学習を使ったAIを利用した回路生成設計ツール」を既に開発中です。次の段階として、この機械学習を使った設計ツールを生成AIと連携すれば、回路設計の上流からトランジスタレベルまで一貫したフローが可能となり、これは他社と大きな差別化になり国内外を含めて、多くの新しいユーザに提供できる可能性があると思っています。

アナログ回路の設計は10年以上の経験がある熟練設計者でないと難しい分野で、学習によって様々な知見を持つ生成AIができれば、もっと設計の幅や、設計時間の短縮につながります。数年を目途に、生成AIを使った製品ができればと思います。

生成AIの世界は、ソフトウェアベンダーとしては恐らくこの40年で最も大きな変革の1つです。リスクを制御しながら、大手EDAベンダーに入り込むチャンスが巡ってきたと考えております。

特集② 営業本部 営業2部 1課長が語る

教育分野における 半導体設計の 学習環境の提供

営業本部 営業2部 1課
課長
阪上 友美子



10数年前には「半導体」というキーワードを付けると学生が集まらないと言われる先生方も多くおられましたが、熊本や千歳に大きな半導体工場ができ、世界的にも注目を集めていることから半導体人気が高まり、近年では半導体を学びたい！という学生さんが着実に増えています。

半導体メーカーで実際に使用されているCAD/EDAと言われる半導体設計用のソフトウェアは高額で、教育現場への導入は難しく、以前の半導体教育は座学が中心でした。しかし、「たくさんの子供たちに半導体設計の面白さを伝えたい」と、奮闘される教育現場の先生方をはじめ、周りを取り囲むたくさんの方の企業との協力があり、最近では、当社のSX-Meisterをはじめとした、「EDAを使用して半導体の回路を作り、その回路が動くかどうかのシミュレーションをしてみる」といった、実際の半導体設計に近い教育手法が増えています。教育現場で指導できる人材の確保も依然として重要な課題ではありますが、現場の先生方は裾野を広げて、教える人材の輩出にも力を入れておられます。

ジーダットでは、2024年から有明工業高等専門学校発のサーキットデザイン教育センター CDEC*が進めている半導体設計教育へ、SX-Meisterを提供して

きました。そして2026年4月からは、木村情報技術株式会社が開発・運営する教育プラットフォームを通じて、クラウド(インターネット経由)でもSX-Meisterが使えるようになりました。全国のどこからでも、場所を選ばずに半導体設計を学べる環境を提供することで、半導体を学びたい学生さんの教育だけでなく、その教育者の育成にも貢献してまいります。

教育現場へのSX-Meisterの提供は、半導体設計を学ぶ未来の技術者たちにジーダットを知っていただく大きなチャンスであり、SX-Meisterのファンが増えることは、今後のジーダットの大きな力になると考えています。また、実際の半導体の製造現場においても「半導体設計がわからないといけない」という声が増えてきていることから、今後は教育現場だけではなく、企業向けへの展開も検討してまいります。

ジーダットが国内唯一のEDAツールベンダーとして、日本の半導体業界にたくさんの方の半導体設計者を送り込むお手伝いができれば嬉しく思います。

※CDEC : Circuit Design and Education Center
有明工業高等専門学校が長年培ってきた半導体・集積回路設計教育の実績を基盤に、全国の国立高等専門学校と連携し、日本の半導体産業を支える実践的かつ研究開発志向の人材を育成・輩出することを目的に設置

● 若干の売上高減少も営業利益は増益を確保

当事業年度における、当社の主要顧客である半導体を含む電子部品業界では、引き続きAI関連分野は堅調に推移しているものの、スマートフォン、パソコン、産業機械向けの半導体デバイスについては低迷が続き、二極化の様相を呈しております。また、イラン情勢による我が国における原油の供給状況次第では、今後、不透明感や景気減速感が顕在化する可能性があり、世界経済全体に対しても下押し要因となることが想定されます。

このような状況の中、当社は産官学との協力を強化し、アナログ半導体向けにAIを用いた設計の自動化に取り組み、設計環境の効率化を追求しており、さらに政府及び自治体が推進している半導体人材育成にもツールの提供などで貢献しております。2025年6月にはフォトマスクの静電破壊検証の技術を実装した「SX-Meister PowerVolt (V19.0)」をリリースしました。この「SX-Meister PowerVolt (V19.0)」の機能追加により、マスク製造前にCADデータ上でフォトマスクの静電破壊のリスク検証を世界で初めて実現しました。これにより、製造コストのロスを大幅に削減でき、品質向上に大

きく貢献することが期待できます。また、12月には、主力製品であるSX-Meisterの1つである「SX-Meister SCAI」の機能強化など、様々な製品の機能追加、レイアウトの編集効率の向上、操作性の向上などを実装した「SX-Meister V20.0」をリリースしました。産官学との協力強化という面では、2025年4月1日に有明工業高等専門学校が開設しましたCircuit Design and Education Center (CDEC)に教育利用を目的としたSX-Meisterのライセンスを提供しました。10月には、木村情報技術株式会社（本社：佐賀県佐賀市、代表取締役：木村隆夫）と、教育分野における半導体設計の学習環境を整備することを目的に、教育機関向けクラウド版SX-Meisterの提供に関する覚書を締結し2026年4月より提供を開始しました。これにより、学生が場所を問わず実践的な半導体設計を学べる教育環境を提供できるようになりました。

国内販売促進活動としては、2025年4月に開催された「Photomask Japan 2025」や、11月に開催された「JEVeC Day 2025」に、当社主力製品及び各パートナー企業の代理販売製品を出展し、

多くの来場顧客に製品紹介を行うことができ、商談開拓につながりつつあります。また、10月には「SX-Meister Technology Seminar 2025 October」をウェビナー形式にて開催し、「SX-Meister 最新機能と開発ロードマップ」をご紹介しました。このセミナーには多くのお客様に参加を賜り、新たな商談につながりつつあります。

デバイス設計受託サービスにおいては、国内での設計委託需要が引き続き活発であり、業績に順調に

貢献しております。

これらの活動の結果、売上高は20億41百万円（前年比1.0%減）となり、一部翌年度に期ズレした案件等もあり、わずかながら減収となりました。一方で、営業利益は前年より若干ながら増益の2億60百万円（同1.4%増）となり、経常利益は助成金の収入減により2億51百万円（同13.4%減）となりました。当期純利益は1億72百万円（同19.4%減）となりました。

● 製品、保守サービス売上高は増加、ソリューション売上高は一時的な受注減

製品売上高は11億78百万円（前期比1.8%増）となりました。製品売上高が増加した主な理由は、主に代理店製品の需要増によるものです。引き続き、国内外の市場に向けた積極的な営業活動を展開してまいります。

保守サービス売上高は4億39百万円（前期比5.0%増）となりました。保守サービス売上高が増加した主な理由は、積極的な新機能提案活動とあわせて保守契約の締結の促進が功を奏したことにより、引き続き顧客ニーズに合わせたサポート・

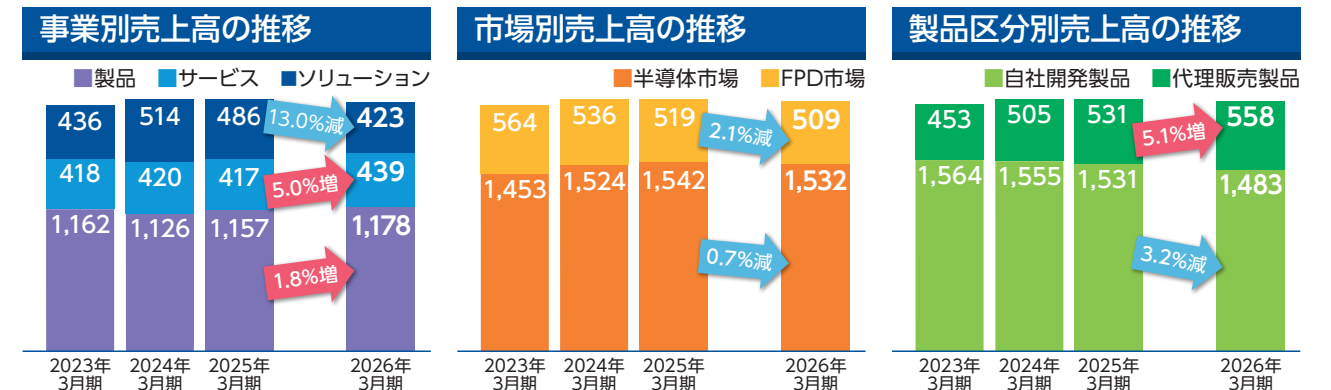
サービスの向上に努めてまいります。

ソリューション売上高（受託開発等）は4億23百万円（前期比13.0%減）となりました。ソリューション売上高が減少した主な理由は、前年度あった商談の規模が縮小したことによるものと一時的な受注減によるものです。現時点で受注状況は好調となっておりますので、引き続き、半導体関連の既存顧客の売上拡大に加えて、新規顧客の開拓を積極的に進めてまいります。

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	2,017	100.0%	2,060	100.0%	2,062	100.0%	2,041	100.0%	△1.0%
売上総利益	1,305	64.7%	1,288	62.5%	1,305	63.3%	1,313	64.4%	+0.6%
販売費及び一般管理費	1,038	51.5%	985	47.8%	1,048	50.8%	1,053	51.6%	+0.4%
営業利益	267	13.2%	302	14.7%	256	12.5%	260	12.8%	+1.4%
経常利益	317	15.7%	374	18.1%	290	14.1%	251	12.3%	△13.4%
当期純利益	266	13.2%	328	15.9%	213	10.3%	172	8.4%	△19.4%

(単位：百万円)



貸借対照表 (単位:千円)

科目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)	科目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	3,107,601	3,192,667	流動負債	675,407	710,781
現金及び預金	2,545,775	2,744,320	買掛金	56,768	76,343
電子記録債権	219,190	128,327	未払金	21,826	31,313
売掛金	286,544	260,176	未払費用	38,790	39,023
仕掛品	2,029	95	未払法人税等	12,312	61,649
原材料	603	183	前受金	441,958	393,709
前渡金	23,854	19,542	預り金	9,530	9,331
前払費用	25,144	33,696	賞与引当金	94,220	99,400
その他	4,459	6,325	その他	—	10
固定資産	1,165,771	1,134,214	固定負債	3,700	3,700
有形固定資産	22,701	16,144	資産除去債務	3,700	3,700
無形固定資産	14,589	8,694	負債合計	679,107	714,481
投資その他の資産	1,128,480	1,109,375	純資産の部		
投資有価証券	132,121	113,204	株主資本	3,594,265	3,612,400
長期前払費用	2,570	8,036	資本金	762,524	762,524
繰延税金資産	56,639	48,159	資本剰余金	893,443	893,443
長期預金	900,000	900,000	利益剰余金	1,966,937	1,985,072
その他	37,148	39,974	自己株式	△28,639	△28,639
資産合計	4,273,372	4,326,881	純資産合計	3,594,265	3,612,400
			負債純資産合計	4,273,372	4,326,881

損益計算書 (単位:千円)

科目	前事業年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	当事業年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)
売上高	2,062,768	2,041,604
売上原価	757,033	727,618
売上総利益	1,305,735	1,313,985
販売費及び一般管理費	1,048,744	1,053,423
営業利益	256,990	260,562
営業外収益	42,019	20,850
営業外費用	8,935	30,153
経常利益	290,075	251,259
税引前当期純利益	290,075	251,259
法人税、住民税及び事業税	34,252	70,672
法人税等調整額	42,394	8,479
当期純利益	213,428	172,108

キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科目	前事業年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	当事業年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,866	378,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,999	△25,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,973	△153,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,949	198,544
現金及び現金同等物の期首残高	2,547,725	2,545,775
現金及び現金同等物の期末残高	2,545,775	2,744,320

1株当たり情報

1株当たり純資産	938円45銭
1株当たり当期純利益	44円71銭

株主資本等変動計算書 (単位:千円)

自2025年4月1日 至 2026年3月31日

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
2025年4月1日残高	762,524	893,075	368	893,443	1,966,937	1,966,937	△28,639	3,594,265	3,594,265
当期変動額									
剰余金の配当					△153,973	△153,973		△153,973	△153,973
当期純利益					172,108	172,108		172,108	172,108
当期変動額合計	—	—	—	—	18,135	18,135	—	18,135	18,135
2026年3月31日残高	762,524	893,075	368	893,443	1,985,072	1,985,072	△28,639	3,612,400	3,612,400

トピックス |

● ジーダットと木村情報技術、教育機関向け「クラウド版 SX-Meister」を4月より提供開始

～日本の半導体人材育成を推進、教育現場で利用可能な環境を提供～

2025年10月、ジーダットは木村情報技術株式会社と、教育分野における半導体設計の学習環境を整備することを目的に、教育機関向け「クラウド版 SX-Meister」の提供に関する覚書を締結し2026年4月より、提供を開始いたしました。「クラウド版 SX-Meister」は、ジーダットが開発する半導体設計用 CAD/EDA ツール「SX-Meister」を、木村情報技術の技術によりクラウド上で利用可能とする教育現場向けオンライン環境です。業務で実際に利用されている本格的な設計ツールを教育現場でも活用できるようにすることで、学生が場所を問わず実践的な半導体設計をオンラインで学習できる環境を提供し、急務である日本の半導体人材育成に貢献することを目指します。

● フォトマスク静電破壊検証のリリース

ジーダットは、2025年6月末リリースのSX-Meister PowerVolt (V19.0) で、フォトマスクの静電破壊検証を新たにリリースいたしました。

フラットパネル向けの大型フォトマスクの製造工程において、静電気によるパターン破壊が発生し、製造コストの大きなロスとなるケースがありますが、これまで設計データ (CAD データ) を用いて事前に検証する方法はなく、品質、コスト面で大きな課題となっていました。

ジーダットはフォトマスクメーカーからの要望に対して、フォトマスクの静電破壊リスクを検証する解析モデルを開発し、この解析モデルと PowerVolt のベースとなる、「高精度な抵抗抽出機能」「論理演算・デバイス定義機能」「直流解析機能」を組み合わせることで、マスク製造前に CAD データ上でのフォトマスクの静電破壊のリスク検証を、世界で初めて実現しました。この検証によって製造コストのロスを大幅に削減でき、品質向上に大きく貢献します。

● 公式YouTubeチャンネルのお知らせ



ジーダットは公式YouTubeチャンネルにて決算説明動画などを配信しております。当社についてさらにご理解を深めていただけましたら幸いです。チャンネル登録よろしくお祈いします。

https://www.youtube.com/@JEDAT_Official



会社概要 / 役員 |

(2026年6月17日現在)

会社概要		役員	
商号	株式会社ジーダット (Jedat Inc.)	代表取締役	松尾 和利
所在地	〒104-0043 東京都中央区湊1-1-12 HSB鐵砲洲	取締役	伊藤 公哉
代表者	代表取締役 松尾 和利	取締役	藤澤 義麿
営業開始	2004年2月2日	取締役	長谷部 邦雄
資本金	762,524,260円 (2026年3月31日現在)	社外取締役	佐上 達男
事業内容	電子回路・半導体集積回路・液晶モジュール等設計支援のためのソフトウェア開発・販売及びコンサルテーション・半導体集積回路の設計受託	社外取締役	渥美 滋
		監査役 (常勤)	小川 尚史
		社外監査役	小松 弘明
		社外監査役	日比野 好恵